

今夏のオリンピックは中止を決断し、コロナ対策に集中を〈4つのカギ〉

菅政権も小池都政も、がまんと犠牲を押し付け、政治の責任を果たさず、いまだにオリンピックに固執しています。コロナ収束へ転換が必要です。

1 大規模なPCR検査

いつでも・だれでも・何度でも。無料の検査を広げる

無症状感染者を早期に発見・保護するために市役所や駅前などに「PCR検査スポット」などを設置します。学校や保育園などへも検査を広げます。

2 安全で早期のワクチン接種

予約や移動の支援と寄り添う相談体制

心配なことを相談できる体制強化へ、市町村を都が財政支援。国に供給計画を明らかにさせ、医師・看護師の確保を進めます。

3 雇用と営業を守る十分な補償 生活支援

小規模事業所やフリーランスなどを支援するために、都独自にも中小企業応援金や家賃支援金などを求めます。ひとり親家庭への「児童育成手当」を増額します。

4 医療体制と保健所の強化

ワクチン接種も含めて地域医療への財政支援を進めます。医療、介護、福祉などの従事者に「応援給付金」を支給します。

日本共産党は、みなさんと力をあわせ、PCR検査の拡充を繰り返し求めてきました。その結果、高齢者や障害者施設、クラスターが発生しやすい事業所などへの週1回の検査が実現しました。さらに推進していきます。

くり返しの提案で、やっと都政も動く

ゆずれない。—いのち・暮らし・人権—

自己責任おしつけの政治から、人にやさしい政治に変えましょう。

日本共産党

都議会議員

原のり子



コロナ・ワクチン
お困りごとは相談を

☎042(391)4139

[五十音順、第二次掲載分]

日本共産党（衆議院議員）

宮本徹



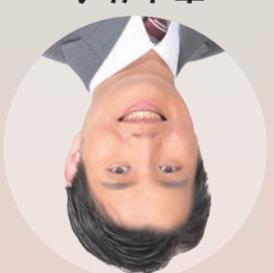
衆議院（清瀬市議員）

佐藤由子



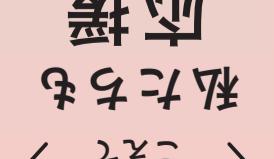
衆議院（東久留米市議員）

青木佑介



立憲民主党

原田真司



八代田道子

中村 翼

山田輝世

中村幸夫

矢澤健司

長澤幹子

水村加代子

中井川香至

森田俊輔

寺尾美紀

町田征也

寺崎英智

福本麻紀

土屋春樹

岸井信子

岸田恵子

林恭子

田中一郎

支那子

永山房子

橋田眞弓

木幡文德

日本共産党中央委員会議員大代表

高橋正人

日本学園女子大学教養部長

鈴木春江

清瀬社会保険組合議會

末永雄三

元保育園園長

黒川隆文

元国立東京病院看護師

新藤妙子

元都立高等學校教師

岡田光好

福祉施設会議員

岡澤良一

日本生活指導研究所所長

大和久蔵

東京外国语大學名譽教授

小林二男

専修大學名譽教授

大嶋洋子

日本社会事業大學生

内田宏明

民謡舞踊研究所在主宰者

植竹ひろ子

東久留米生活文化センター

乾三重子

元青山學院大學非常勤講師

市村重平

清瀬市議員

石垣雅之

日本政治医療化研究会

井口信治

日本政治立場の連携会員

阿部洋二

茨城県立民運合議會

大根洋二

左の立場の連携会員



日本共産党 都議会議員 原のり子

都議会議員になって4年。ますます、市民のみなさんが政治を動かしていることを実感しています。みなさんの声をもっと届けたい、自分の役割を果たしたい、と決意しています。

【プロフィール】

日本共産党都議会議員1期。2017年7月の都議選で北多摩4区(清瀬市・東久留米市)から立候補し当選。都議会総務委員会所属。東京都農林・漁業振興対策審議会委員。東京都青少年問題協議会委員。東久留米市議5期18年。法政大学卒。1965年東京生まれ。夫と子ども3人の5人家族。好きなものはピアノ、水泳、紅茶、絵本。

ー市民とともに政治を動かすー 私の2期目への思い

✉ hara.noriko.jcp@gmail.com
✉ @haranoriko0917
✉ 原のり子 ⓧ hrnrkds
✉ こんにちは原のり子です



たまほく“出産”対談

東久留米市・2児のママ 東京都議 渡辺奈保子×原のり子

I 時間かけて救急搬送

原 交渉に同席していたので、訴えを聞きながら涙が出ました。
渡辺 妊娠29週で「妊娠高血圧症ヘルプ症候群」と診断されました。「母体が危ない」と市内の病院からI時間かけて文京区の病院に救急搬送されたんです。

原 近くに受け入れてくれる病院がなかったんですね。
渡辺 はい。無事に出産できましたが、娘は828グラムでした。私は10日ほどで退院できました。娘は3ヶ月間NICUにいたので、搾乳して

母乳を運びました。でも、帝王切開後の体で1時間以上電車を乗り継ぐのは無理でした。車で行くと駐車場代がものすごく高い。だから毎日は行けなかった。行っても一日中付き添うことができなかった。娘に申し訳なくて…。この話になると涙があふれます。

清瀬には出産できる病院施設がない

原 話を聞いていた都の部長さんや課長さんが、真剣にメモをとっていましたよ。近くに安心して産める

「多摩北部医療センターを良くする会」のみなさんが東京都と交渉した際、つらかった出産体験をのべて産科とNICU(新生児集中治療室)の設置を求めた、東久留米市の渡辺奈保子さん。原のり子都議と語り合いました。



産科とNICUがほしい。切実ですね。清瀬市には出産できる病院が一つもない。NICUをもつ都立清瀬小児病院が廃止されたことが原因の一つです。

渡辺 そうだったんですか。これから出産・子育てる人たちに、私のような思いはしてほしくないです。

訴えが都を動かす

原 渡辺さんの訴えは都を動かしているんですよ。多摩北部医療センターは全面改築の時期を迎え、私の代表質問に都は、小児科、高齢

者医療などの充実を求める声をふまえると答弁しました。一方で、都立・公社病院を独立行政法人化して財政支出を減らそうとしている。これにはストップをかけなければいけない。これからががんばりどきです。全力を尽くします。

渡辺 発言するのは勇気がいりました。でも、やってよかったです。

市民の願いに背を向けた 德平裕子
自民党・都民ファースト
(清瀬市在住)
私たちは、多摩北部医療センターに産科やNICU設置のためにも、東京都がねらう独立行政法人化中止の請願を出しました。自民、公明、都民ファーストの議員さんは反対し否決しました。市民の願いを託せるのは原のり子さんだと痛感しました。

市民のみなさんが都政を動かしています! 2期目でさらに前へ!

障害児・者のコロナ受け入れ

「障害者がコロナに感染したとき、障害特性に応じて入院できる病院を確定してほしい」。緊急の署名運動、都への交渉。私も一緒にとりくみました。そして陳情は全会一致で趣旨採択に。都は、障害者を都立・公社病院で受け止める、と繰り返し答弁。

自民党が廃止した

多摩地域の保健所

—住民の声で保健師が増員

コロナ禍で、自民党都政の都立病院廃止や多摩地域の保健所削減の問題点が浮き彫りに。多摩地域の各地で保健所強化・復活の署名が広がり、私も市民のみなさんと一緒に、代表質問も行いました。4月から保健師11名増員され、さらに「体制確保にとりくむ」と答弁が。

不合理な校則見直し

生来の黒髪を「黒染め」するように言われた都立高校生が、おかしいと思うと相談してくれて、一緒にとりくみ、都教委は「一律に指導しない」などの通知を出しました。一人の高校生の声が、校則問題は人権問題だと明らかにし、理不尽な校則見直しのうねりに結びついています。



「黒染め」について話しあう原都議(2019年11月23日)

2期目 コロナ危機をのりこえ安心と希望の東京へ

1 多摩北部医療センターに産科・NICUの新設、障害者・高齢者医療の充実。都立・公社病院の独立行政法人化中止

2 保健所の体制強化、地域に保健所復活

3 障害者医療費助成制度、福祉手当の拡充

4 パートナーシップ制度の実現、DV相談支援センター設置、性被害・痴漢をなくす対策

5 少人数学級推進。特別支援教育の拡充。不登校支援

6 公立保育園廃止計画の中止、学童保育や児童館への支援

7 シルバーパスの改善。補聴器購入補助の実現。特養ホームなどの増設

8 生きづらさに寄りそったひきこもり支援

9 都営住宅の新規建設、使用承継や修繕費等の改善

10 都市農業を守り、地域の環境を守る

都の財政力(15兆円)を都民のために生かします

菅政権はおかしい、の思い、都政では、市民と野党共同の原のり子都議へ

東京20区
市民連合が
宮本徹
衆議院議員
を推薦決定



原のり子都議と
力をあわせて
コロナ対策に
全力をあげます
日本共産党
衆議院議員
宮本徹



原のり子さんは、私の最も尊敬する政治家の一人です。困難をかかえた市民に寄り添うあたたかさと強い信念で都政を動かす、みんなの議席です。私も誰一人取り残さない政治をつくるために原都議と一緒に頑張ります。